

令和8年(2026年)9月1日

## TRC-ADEAC が、デジタルアーカイブシステム ADEAC にて AI を活用したデジタルアーカイブ検索支援サービスの試験提供を開始

TRC-ADEAC 株式会社(代表取締役社長:稲垣実)は、生成 AI を活用し、自然な言葉でデジタルアーカイブに収録されている資料を検索できる「AI 検索支援」サービスの試験提供を、2026 年 8 月 24 日(月)より開始しました。これまでのキーワード検索とは異なり、ユーザーが自然な言葉(話し言葉など)で入力するだけで、AI がデジタルアーカイブ内で関連資料を探し出すためのキーワードを提案してくれる、新しい検索支援機能です。サービスはログイン不要で、ブラウザ上でどなたでも無料で利用可能です。

### 自然な言葉から、地域の資料との出会いを支援

これまで、デジタルアーカイブの検索は、利用者が資料に含まれるキーワードを想定して入力する「キーワード検索」が中心でした。今回提供を開始する「AI 検索支援」は、自然な言葉の入力で、利用者とデジタルアーカイブ収録資料との新たな出会いを支援するサービスです。PC、スマホ、タブレットなどからご利用いただけます。

▲① AI 検索支援画面 <https://adeac.jp/ai-search>

The screenshot shows the ADEAC website interface. At the top, there's a header with the ADEAC logo and a navigation menu. Below the header, a banner reads '地域や歴史に関する事項を自然な言葉から探す' (Search for items related to local area and history from natural language). A sub-header says 'AIが利用者の関心に一時的に答え、調べるためのキーワードを提案。そのままADEACのフルテキスト検索へつなげます。' (AI temporarily answers the user's interest and proposes keywords for searching. It then connects to the full-text search on ADEAC). A button labeled '+ 新しいチャット' (New Chat) is visible.

The main content area is divided into two columns. The left column is titled '戦後の食生活について知りたい' (I want to know about post-war food life). It contains an AI response section titled 'AIによる一時回答' (Temporary answer by AI). The response describes the post-war Japanese food life, mentioning the '食糧難' (food shortage) and the '高度経済成長期' (high economic growth period). It lists keywords like '食糧難(184)', '学校給食(406)', '高度経済成長期(225)', 'インスタントラーメン(2)', '冷凍食品(9)', '外食産業(10)', '和食(22)', '代用食(53)', '配給(815)', and '洋風化(26)'. A red arrow points to the 'インスタントラーメン(2)' keyword.

The right column is titled 'ADEACで調べるためのキーワード' (Keywords for searching on ADEAC). It lists the same keywords as the left column. Below this, there's a section titled '検索の広げ方' (How to broaden the search), which explains that using multiple keywords can help find more related materials.

At the bottom of the left column, there's a search bar with the text '地域や歴史について知りたいことを自然な言葉で入力してください' (Please enter what you want to know about local area and history in natural language) and a button labeled 'AIに聞く' (Ask AI).

▲② 「戦後の食生活について知りたい」と質問すると、回答とキーワードが表示される

▲③ キーワード「インスタントラーメン」をクリック→該当する資料が「詳細検索」にて表示される

## 建前

◀ ◀ 263 / 700ページ ▶ ▶

ビューア該当ページ

目次 / 第四章 ムラの暮らしとイエの暮らし / 第二節 イエの暮らし / 七 贈答 / (三) 家の普請における贈答

## 建前

303 ～ 304 / 766ページ

家の普請では、建前の際の贈答が目立つ。建前にはあらかじめ手伝いを依頼し、依頼されたイエでは祝い金を持参していったが、近い親戚では、祝い金の他にグシ餅やミカン、酒、ゴムマリ、五色の旗などを贈った。グシ餅とは小さく丸めた餅で、式後に集まったムラ人めがけてまく餅である。グシ俵と称する特製の俵に入れて持参する習わしがあり、一つの俵にはもち米にして三升分程の量が入る。これを五俵程、多いイエでは七俵程持参する場合もある。ゴムマリは、よく弾むことにあやかり、イエが繁栄することを願って贈られるものである。昭和四〇年代以降はこうした物の他に、インスタントラーメンやタオル、軍手など多種多様なものを贈るようになった。

建前の儀式が終了すると、建て主より振舞いがなされ、帰りには五色の旗や残ったグシ餅、あるいは引き出物などが渡された。

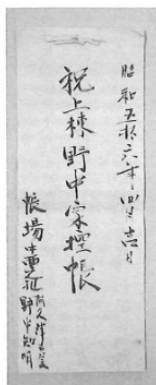


図33 「祝上棟野中家控帳」(中阿久津)

## ▲④「インスタントラーメン」が出てくる歴史資料

『高根沢町史』 <https://adeac.jp/takanezawa-lib/text-list/d100030/ht002590>

## AI は「答え」ではなく、資料を探すための支援役に

本サービスにおいて、AI はあくまでデジタルアーカイブの資料を探すための「検索支援」を行います。

AI による回答だけで情報を完結させるのではなく、回答をきっかけにデジタルアーカイブに収録された自治体史などの資料へ誘導することで、利用者自身が根拠となる資料を確認し、より詳しい情報を得ることができます。

## 独自開発の AI 検索支援サービス

「AI 検索支援」は、TRC-ADEAC 株式会社が独自に開発したサービスです。デジタルアーカイブシステム ADEAC に収録されている資料を活用し、AI による自然な言葉での検索支援と、従来の資料検索を組み合わせることで、これまで資料にたどり着くことが難しかった利用者にも、地域の歴史・文化に関する資料に触れる機会を提供します。

## サービス概要

サービス名: AI 検索支援  
URL: <https://adeac.jp/ai-search>  
提供開始日: 2026 年 8 月 24 日(月)  
開発: TRC-ADEAC 株式会社



▲AI 検索支援  
<https://adeac.jp/ai-search>

## デジタルアーカイブシステム ADEAC について

歴史や文化に関わる資料・情報を収集・公開・活用するための、クラウド型デジタルアーカイブシステムです。2026 年8月現在、自治体(図書館・博物館・文化財担当部署・自治体史編さん担当部署等)・大学など、全国 190 以上の機関様にご利用いただいています。

## TRC-ADEAC 株式会社について

|       |                                                                                                                    |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 住所    | 東京都文京区大塚                                                                                                           |
| 代表取締役 | 稲垣 実                                                                                                               |
| 事業内容  | ・デジタルアーカイブシステム ADEAC の運用<br>・デジタルデータの作成<br>・デジタル化したアーカイブ資源を用いた商品の企画・制作及び販売<br>・自治体史の編さん支援<br>・デジタルアーキビスト養成のための研修業務 |